

## 今後の利用計画は？ 旧鷹丸体育館・武徳殿

(市民クラブ)

### 問

中心市街地活性化基本計画の区域内にある旧鷹丸体育館は、平成10年から使用を休止しており、老朽化や耐震対策等を考えると解体すべき建物であると思うが、周辺の児童館やテニスコートなどの既存施設との関連の中で、どのような活用方法を考えているのか。

また、武徳殿は、老朽化が激しく、安全面で不安もある建物であり、隣接する旧西条図書館との一体的な活用も含め、解体して周辺整備を行うべきであるがどのように考えているのか。

### 答

旧鷹丸体育館は、日本を代表する建築家坂倉準三氏の設計により昭和36年に建設され、市民に利用されてきたが、老朽化等により平成10年から使用を中止している。市の文化財としての保存すべきとの専門家等の意見もあり、地域防災の観点も視野に入れつつ、市街地における元氣とにぎわいのある交流

空間の創造を図るために、費用対効果にも配慮しながら、平成25年3月までの中心市街地活性化基本計画の期間内における事業の具現化を目指し取り組んでいきたい。

武徳殿については、築後70年余りが経過し、平成13年の芸予地震により建物の傾きが進行したため使用を中止し、施設の取り扱いについては、老朽化等により倒壊の危険性が懸念されることから、解体を前提に関係団体等と協議中であり、早急に結論を出したい。

また、中心市街地活性化基本計画における旧西条図書館の位



武徳殿と旧西条図書館

置付けについては、地域交流施設としての整備を考えており、周辺の市立郷土博物館、愛媛民芸館及び武徳殿用地を含めた一体的な利用が必要であると考えている。

## どう判断する？

### 雇用対策の成果

(日本共産党西条市議団)

### 問

中小業者の中では、失業保険もなく、厳しい現状となっており、中小業者の仕事確保は、雇用対策とともに緊急切実な課題である。

政府が打ち出した15兆円規模のこれまでの経済危機対策は、大企業支援が中心になっている。雇用がさらに悪化していると言われる中で、市の中小業者の仕事確保、雇用対策と成果を問う。

### 答

今回の経済危機対策は、雇用対策や中小企業などの資金繰り関連予算をはじめ、健康、長寿、子育て予算、さらに地方公共団体への財政支援などが盛り込まれており、決して大企業支援が中心という認識はしていない。

国の経済危機対策予算の成立を受け、7月臨時議会において7億2千600万円の補正を行い、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の実施により、地域の中小企業の受注機会の創出にも配慮している。

また、本年1月には、離職者などの生活支援と中小事業者の受注機会の創出を目的とした緊急雇用対策事業により、市の直接雇用で29名、委託事業で27名、計56名の雇用を創出している。

その後、国の第2次補正で緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別交付金事業が打ち出され、緊急雇用創出事業では、市の直接雇用により13事業で23名の雇用創出を計画し、8月末で、11事業で19名の雇用を完了している。また、委託事業では、25事業で95名の雇用創出を計画し、8月末で、8事業で33名の雇用が確定している。

一方、中長期的な雇用の創出を目的とする、ふるさと雇用再生事業では、8事業で20名の雇用創出を計画し、8月末で、すべての事業で契約を締結し、このうち4事業で11名の雇用が確定している。今議会においても新たに6事業を予算計上し、13

名の雇用創出を図っており、今後とも、計画に基づき、速やかな事業の推進に努めたい。

## 請願

9月定例会で審議した請願の意見書」の提出を求める請願審議状況は、次のとおりです。

### 【不採択】

・経済・金融危機のもとで「消費税の大増税計画に反対する意見書」の提出を求める請願

### 【継続審査】

・中小業者の家族従業者の人権保障のため、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願

## 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、  
清 末 昭 宏 氏  
を推薦しました。